

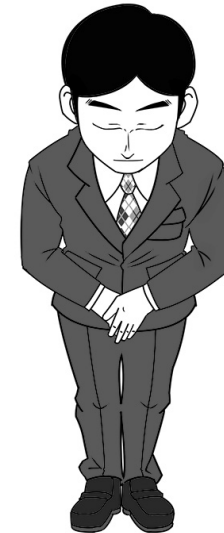
要件定義シート



情報種別：サンプルテンプレート

20xx年xx月xx日
株式会社ケイツー・インタラクティブ

本シートは、
現時点で決定している内容をもとに作成しています。
プロジェクトの目的、前提条件、進行状況が見える形にし、関係者間で認識を共有しながら進行してまいります。
未確定の項目については、
各工程で必要な情報を段階的に反映してまいります。
お客様に安心していただけるよう、
認識を共有しながら進行してまいります。



- ・目的要件
- ・対象ユーザー要件
- ・情報設計要件
- ・コンテンツ要件
- ・機能要件
- ・非機能要件
- ・制作条件要件
- ・運用／保守要件
- ・進行計画と費用

目的要件

必要な情報が迷わず届くための再設計

全体として好感が持て、必要な情報に迷わず到達でき、

文字情報が無理なく読めるWebサイトにします。

特に、IR・採用・サービス情報への入口をトップページでは明確にします。

現状の主な課題として、情報の導線、IRの見せ方、企業理解の伝わり方の3つが挙げられます。

課題

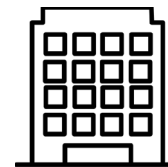
情報の取得と理解に負荷がある状態



資料の置き場が散在していて、必要な情報へすぐ辿り着きにくい構成



PDFや文字情報が中心で、要点の把握が難しく、理解に時間がかかる構成



事業や企業活動の指針に関する十分な情報がなく、理解を深めにくい構成



解決



情報と導線を再設計し、会社理解を深める構成にする

目的要件

方針



Webサイト全体の見直しと、IR情報の見せ方の改善を主な軸として進めます。

以下の2点を基本方針とします。

リニューアル方針

本提案は、限られた予算とスケジュールの中で効果を最大化するため、トップページとIRを中核に据えて見直しを行います。

Webサイト全体の印象改善と情報到達性の向上を軸に、トップページとIRを中心に構成を再検討し、採用や商品事業については必要な範囲でカテゴリトップ改善や導線整備を行います。

IRの構成方針

資料を掲載するだけの構成から、必要な情報にすぐ届き、内容を理解しやすい構成へ見直します。

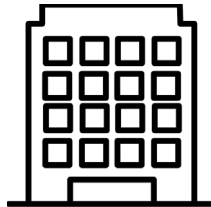
財務・業績の理解を助けるためにページアクセスの導線を整え、資料庫、株式情報、株主還元、個人投資家向け情報を役割ごとに整理することで、見やすく運用しやすいIRを目指します。

対象ユーザー要件

誰に何を伝えるサイトかを明確に

自治体・企業の担当者と投資家・株主、それぞれに必要な情報が届きやすくなり、会社理解や判断につながるWebサイトを目指します。

自治体・企業の担当者



閲覧場面

どんな業務を担い、どんな依頼に対応できるのかを短時間で把握したい

効果

トップページや事業紹介から会社理解が進み、相談先・発注先としての判断がしやすくなる

投資家・株主



閲覧場面

最新のIR資料、業績、株式情報、株主還元、会社の特徴を確認し、投資判断や保有判断に必要な情報を得たい

効果

必要なIR情報が得られ、PDF中心だった情報も理解しやすくなり、会社への理解と信頼を深めやすくなる

情報設計要件

情報設計要件

改修範囲



トップページとIRを中核に据え、Webサイト全体の印象向上と情報の届きやすさを高めることを基本方針とします。

全体構造は大きく変更せず、共通テンプレートの刷新と情報導線の見直しを中心に進めることで、印象、可読性、情報到達性を全体的に高めます。

リニューアル対象ページ

トップページとIRのフルリニューアルを中心に改修の重点領域を定め、IRについては情報構成の見直しに加え、サステナビリティ（ESG）コンテンツの追加を含めて刷新を行います。あわせて、採用トップページおよびサービストップページについても、導線と構成の見直しを行います。

その他既存詳細ページ

新しいテンプレートの反映とあわせて、印象面や操作性の改善を進める方針です。今回の提案段階では、細かな構成変更までは対象範囲に含めず、改修範囲を明確にしたうえで以降の検討を進めます。

情報設計要件

トップページ構成について



デザインは新しいトップページの印象を基準に、共通トーンのもとで各ページの役割が伝わる構成とします。

ワイヤーフレーム

※構造確認を目的とした設計図であり、デザイン案ではありません。

写真・配色・UI・ビジュアルの詳細は定義が固まり次第設計いたします。

[ワイヤーフレーム of K2](#)

情報設計要件

総合トップのストーリー設計



興味 存在意義

一目で業態とわかるイメージを採用します。また、地域に根付いた企業だということもわかるようなコピーを添えます。

理解 価値

かんたんにサービスへアクセスできるよう導線をつくります。詳細へのボタンを設置して、グループシナジーを明示的にします。

信頼 継続

事業を社会に対して開示することで人が集まる構造にします。

納得 根拠

お知らせやCSR・IRのニュース配信を通じて、企業としての活動を継続的に公開します。

安心 体制

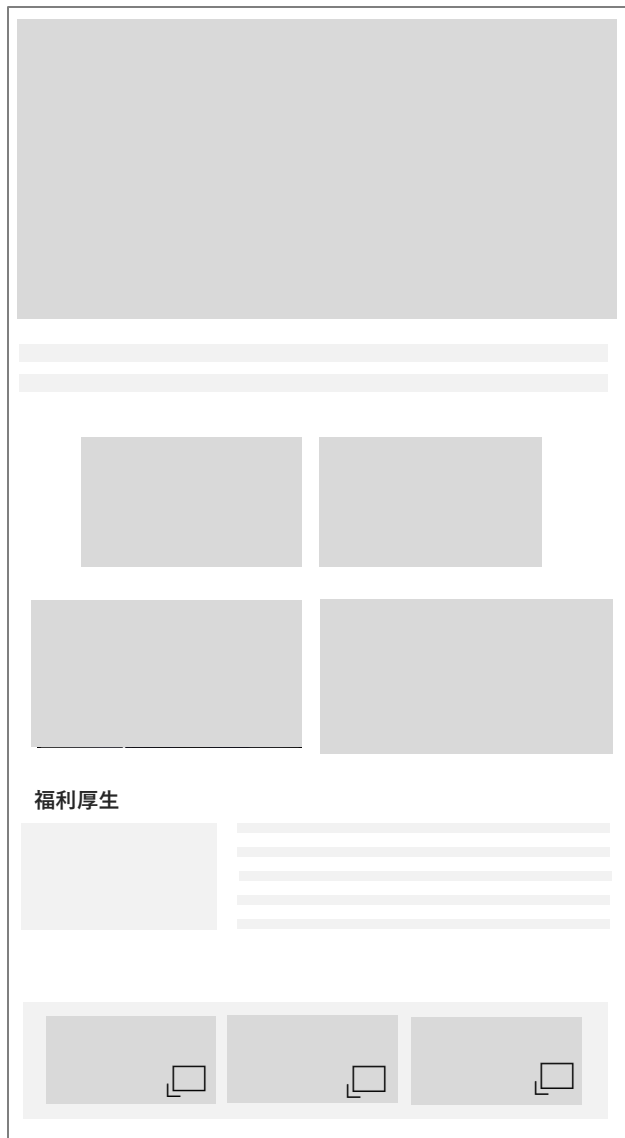
価値を提供するための支える土台がしっかりあることを下段に配置することで説得力を出します。



※今後 詳細なワイヤーフレームを作成します。

情報設計要件

設計方針：採用情報 トップ



アイキャッチ

ブランディングエリア

ファーストビューに総合力を印象づけるキービジュアルを配置し150~200字のリードで簡潔に採用に関する説明します。

①

自分ごと化

① 応募属性は新卒採用と中途採用の大きく2つに分かれるので、メインのボタンとして配置します。

「選考の流れ」と「キャリアプラン」はそれぞれ、新卒採用と中途採用の中に踏襲します。

②

②動画もページ内に2本設置。

より深い理解

福利厚生は一部抜粋し概要を把握したうえで詳細ページへ遷移できるようにします。

外部との接続

外部ポータルなどがある場合は、バナーを設置して別タブでリンクします。

採用コンテンツは見やすさと導線改善を中心に扱います。

総合トップから採用へ入りやすい構成を整える方針です。

採用カテゴリトップでは、画像や動画を活用しながら、採用情報への入口を分かりやすく見せます。下層ページは「選考の流れ」と「キャリアプラン」を新卒・中途採用それぞれに吸収させつつ、原則現状維持とし、本格的な採用訴求の強化は別途段階での検討とします。

※今後 詳細なワイヤーフレームを作成します。

情報設計要件

設計方針：サービストップ



アイキャッチ

ブランディングエリア

ファーストビューに総合力を印象づけるキービジュアルを配置し、グループシナジーの全体像を150～200字のリードで簡潔に説明します。

ページ内で事業全体を俯瞰できる構成とし、一覧性と第一印象の両立を図ります。

ケース別導線

メインページことへの導線。アイコン・ページタイトルをセットにしたボタンを配置します。

事業一覧

現状の内容を一覧性を高めるようブラッシュアップ。

このページ内で事業内容の全体像を把握できるようにします。

事業と商材はタイトル立てして明確に区別できるようにします。

グループシナジーが伝わる見せ方を上段に置き、その強みが活かせる代表的な依頼例を示したうえで、各サービスへの導線を整理するカテゴリトップ構成を想定します。

これにより、総合力と具体的な対応範囲が伝わる入口をつくります。

また、事業と商品をタイトル立てして分けることで、これまで混在していたサービスが整理されより事業の全景をクリアに示すことができます。

※今後 詳細なワイヤーフレームを作成します。

情報設計要件

設計方針：IR情報 トップ



アイキャッチ

タイトルはシンプルに天地短く、ファーストビューで最新の情報を取得できるようにします。

右図の3つの項目が並ぶ構成が、他社事例でも多く見られる配置になっています。

把握

主要指標を一覧できる業績ハイライトを配置し、企業の現在の状況を短時間で把握できる構成とします。

メッセージ

“資料を見るだけ”から一歩進んで、会社理解に入ります。

確認導線

最新情報など確認導線として設置します。

より深い理解 1

トップページからすべてのIRコンテンツへアクセスできるポータル役割を持たせます。

より深い理解 2

株価の情報掲載 (Yahoo!ファイナンスへアクセス)

IR情報全体の入口として、最新情報、要点、主要導線をまとめるハブページです。

最新IR資料、主要グラフ・ハイライト、財務・業績情報やIRライブラリなど各区分への導線、個人投資家向け導線、IRニュース・イベント導線を配置し、必要な情報に迷わず到達できる構成とします。単なるカテゴリ表紙ではなく、更新情報の確認とIR全体の見渡しを両立するページとして設計します。

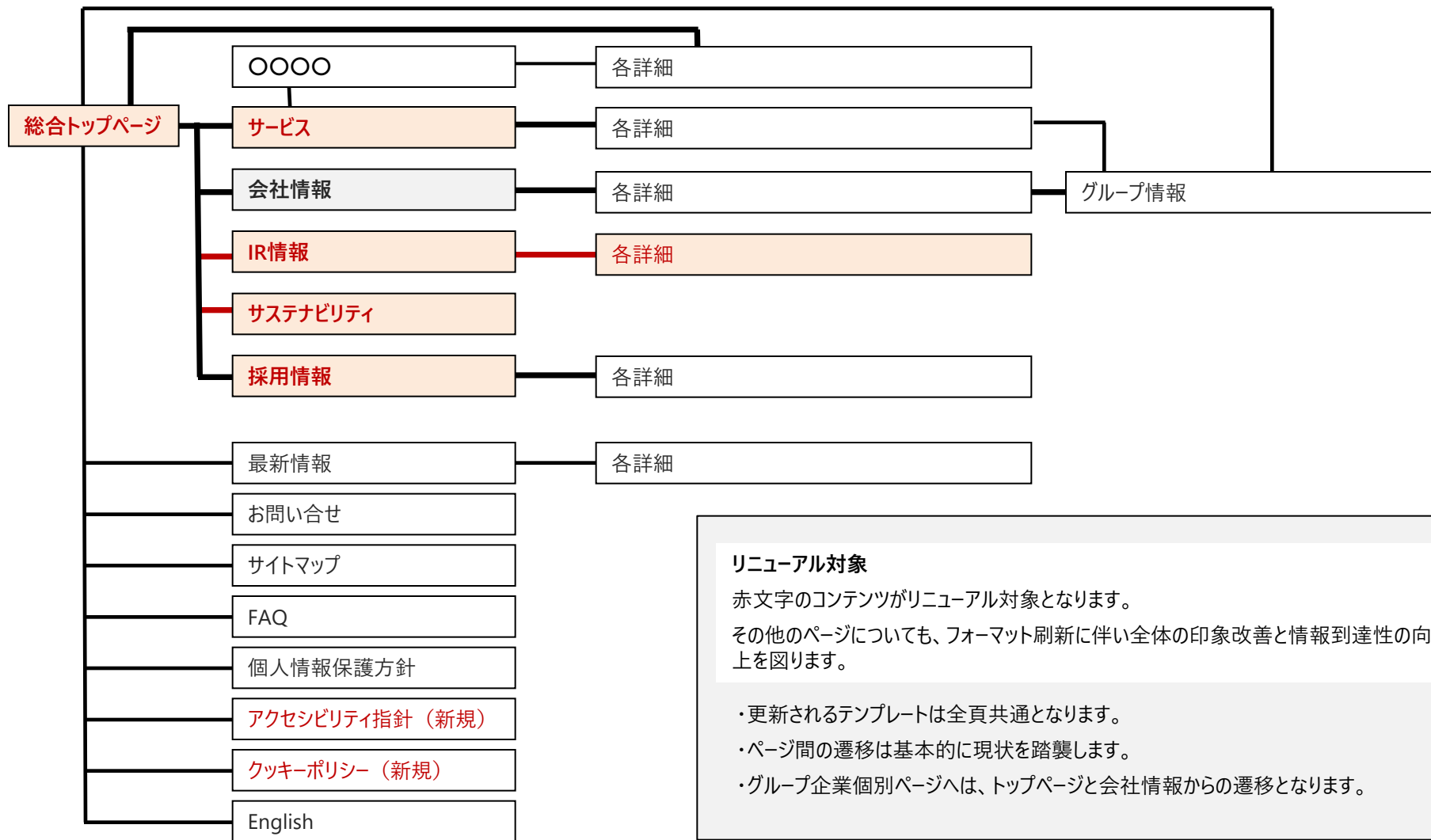
※今後 詳細なワイヤーフレームを作成します。

情報設計要件

サイトマップ：総合



サイト構成マップ



リニューアル対象

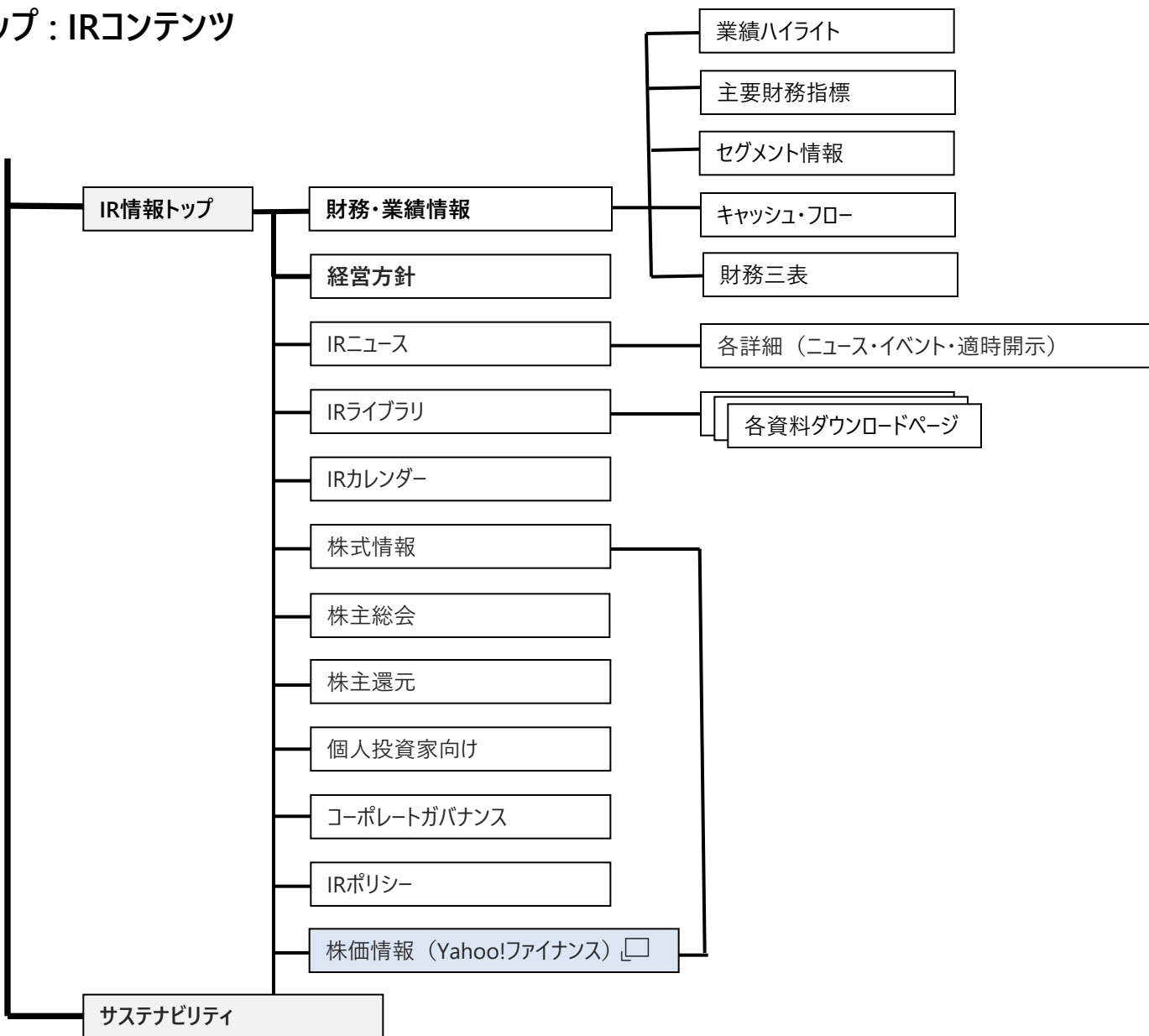
赤字のコンテンツがリニューアル対象となります。

その他のページについても、フォーマット刷新に伴い全体の印象改善と情報到達性の向上を図ります。

- ・更新されるテンプレートは全頁共通となります。
- ・ページ間の遷移は基本的に現状を踏襲します。
- ・グループ企業個別ページへは、トップページと会社情報からの遷移となります。

情報設計要件

サイトマップ：IRコンテンツ



財務・業績情報

- 業績ハイライト
- キャッシュ・フロー
- 主要財務指標
- 財務三表
- セグメント情報

ページ内で業績や指標を確認できるよう、グラフと表組で掲載します。財務三表に関してはJPGデータをHTMLに埋め込む形で表示します。

参考

- ・NRI
https://ir.nri.com/jp/ir/finance/ifrs_indicator.html
- ・東映アニメーション
<https://corp.toei-anim.co.jp/ja/ir/finance.html>

経営方針

- トップメッセージ
- 事業内容
- 経営理念
- 強み・特徴
- 中期経営計画

経営方針に関する情報をまとめて掲載するページです。

トップメッセージ、経営理念、中期経営計画、事業内容、強み・特徴を整理して掲載し、投資家が企業の方向性や成長の考え方を理解しやすい構成とします。財務・業績情報とは役割を分け、数字の背景にある考え方や事業の見方が伝わるページとします。

掲載内容は、既存の経営資料や公開情報をもとにする想定です。必要に応じて、Web掲載に合わせた見出し整理や文章の整文を行います。

IRニュース

- 各年度適時開示
- お知らせ
- イベント

IRに関する適時開示、お知らせ、イベント情報を時系列で掲載するページです。適時開示は年度ごとに整理し、投資家・株主が必要な更新情報や開催案内を確認しやすい内容とします。

IRライブラリ

- 決算関連資料
- 有価証券報告書
- その他資料
- 決算説明会動画

決算短信、有価証券報告書、四半期報告書／半期報告書、決算説明会資料、決算説明会動画、その他IR資料を種別ごとに整理して掲載する資料ページです。必要な資料へ素早くアクセスできる構成とし、財務・業績情報ページと役割を分けます。

株式情報

- 株式基本情報
- 株主構成
- 大株主の状況
- 株価情報
- 株式事務手続き

株式基本情報、株主構成、大株主の状況、株価情報、株式事務手続きを整理して掲載するページです。

証券コード、上場市場、事業年度、単元株式数などの基本情報に加え、既存開示資料をもとに株主情報を掲載し、株価情報はYahoo!ファイナンスへのリンクで対応します。

株主総会

- 招集通知
- 決議通知
- 関連資料

株主総会に関する資料をまとめて掲載するページです。

招集通知、決議通知、関連資料を整理して掲載し、株主が必要な情報を確認しやすい構成とします。IRライブラリとは役割を分け、株主総会に関する情報をまとまりで確認できるページとします。

株主還元

- 配当情報
- 株主還元方針
- 株主優待

配当情報、株主還元方針、株主優待を整理して掲載するページです。配当金の推移、配当方針、直近配当予想、優待内容などをまとめ、株主・投資家が還元内容を把握しやすい構成とします。

個人投資家向け

- ○○○○を知る
- 強み・特徴
- ○○○○の事業
- 数字で見る○○○○
- 株主優待・配当の要点
- よくある質問

個人投資家の方が、事業内容や特徴、株主還元の考え方を理解しやすいように整理して掲載するページです。

会社概要、強み・特徴、事業内容、主要な数値、株主優待・配当の要点、よくある質問を掲載し、短時間で全体像を把握できる内容とします。

コーポレートガバナンス

- ガバナンス方針
- 体制図
- 役員情報
- コンプライアンス関連

コーポレートガバナンスに関する情報を整理して掲載するページです。ガバナンス方針、体制図、役員情報、コンプライアンス関連の内容をまとめ、企業統治の考え方や体制が分かる内容とします。

IRポリシー

- 免責事項
- 電子公告
- IRお問い合わせ

IRに関する基本方針や公開上の注意事項、電子公告、問い合わせ先などを掲載するページです。IRポリシー、免責事項、電子公告、IRお問い合わせを整理し、IR情報の発信方針や利用時に確認しておきたい内容が分かる構成とします。

サステナビリティ

- ESG方針
- 人権方針
- ダイバーシティ
- 健康経営
- 環境対応

サステナビリティに関する考え方や取り組みを掲載するページです。**ESG**方針、人権方針、ダイバーシティ、健康経営、環境対応などの内容を整理し、非財務情報が分かりやすく伝わる構成とします。

掲載内容は既存情報をもとに調整し、独立メニューとして設置する想定です。

IRサイトと並列して、グローバルメニューに「サステナビリティ」を設置します。

※今後 figma にて詳細なワイヤーフレームを作成します。

コンテンツ要件

IRコンテンツ

必要な情報にアクセスしやすく、内容を理解しやすい形へ再構成します。財務・業績に関する情報は、数値の掲載にとどまらず、業績ハイライト、主要財務指標、セグメント情報などを通じて要点が把握できる内容とします。

また、個人投資家向け情報、株主還元、コーポレートガバナンス、サステナビリティなどについては、企業理解や投資判断に必要な情報として、HTMLページで分かりやすく掲載します。

非財務情報の扱い

非財務情報は、主にサステナビリティページおよびコーポレートガバナンスページで扱う情報です。

財務数値では伝わりにくい企業の方針や取り組みを伝える内容として、IRの補足ではなく、企業理解を深めるための独立した情報群として整理します。掲載内容は、ESG方針、人権方針、ダイバーシティ、健康経営、環境対応を基本とし、既存のコーポレートガバナンス情報と役割を分けて掲載します。

資料をもとに、Web掲載に適した見出し構成および文章表現に調整します。

採用コンテンツ

採用コンテンツは、採用カテゴリトップの見やすさと導線改善を中心に見直します。

総合トップから採用へ入りやすい構成とし、採用カテゴリトップでは、画像や動画を活用しながら、新卒採用と中途採用を明確に分けて掲載します。また、「選考の流れ」や「キャリアプラン」についても、それぞれ新卒採用・中途採用の中で分かりやすく案内する構成とします。

福利厚生は一部を抜粋して概要が分かる形で掲載し、必要に応じて詳細情報へ誘導します。あわせて、外部採用媒体がある場合は、バナー等により接続できるようにします。

総合力

総合力は、抽象的な印象訴求にとどめず、事業全体の見取り図と代表的な対応領域が伝わる内容として示します。

トップページおよびサービストップでは、事業・商品・その他の全体像を俯瞰できる構成を基本とし、グループシナジーが伝わる見せ方を上段に置いたうえで、代表的な依頼例や各サービスへの導線につなげます。掲載素材は、既存の会社案内、カタログ、写真を活用しつつ、必要に応じて新たな写真も使い、文字情報だけに偏らない、視覚的に理解しやすい内容とします。

機能要件

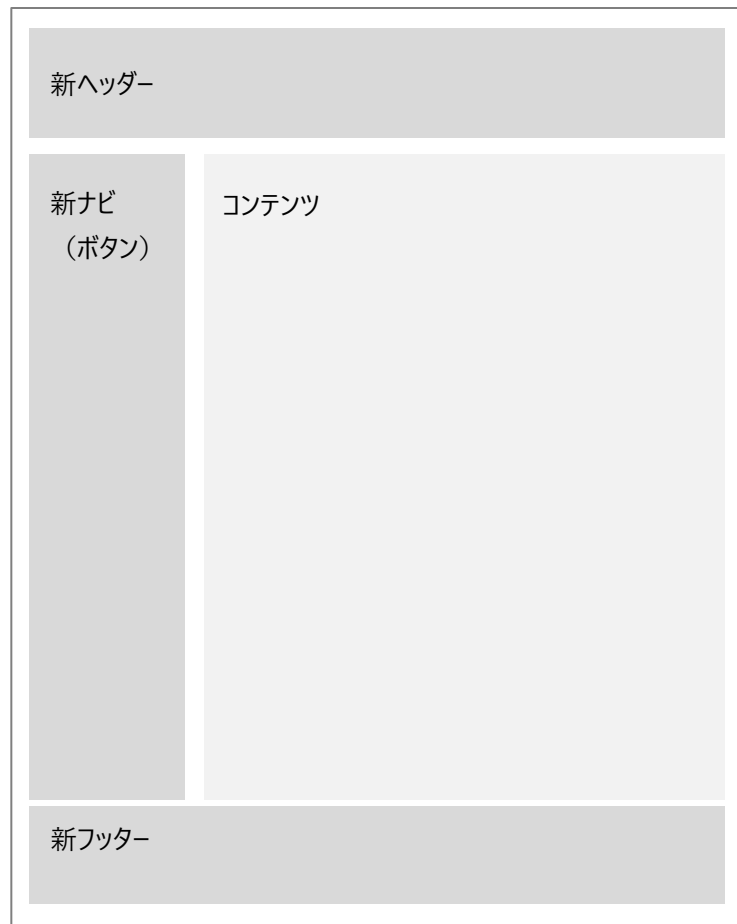
機要件

リニューアル構造方針 1/3



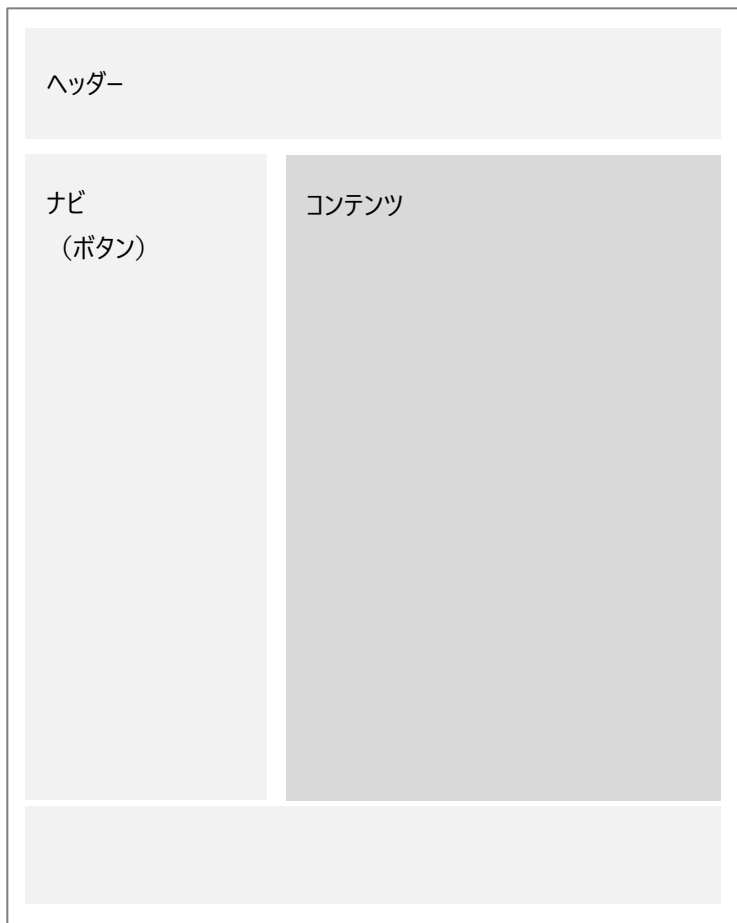
共通テンプレート

本改修では、トップページのリニューアル及びIR領域の強化を起点に、サイト全体の印象を向上させることを目的としています。今お使いのCMSを活かしながら、共通テンプレート（ヘッダー／ナビ／フッター）にフォーカスして、印象と操作性を最適化します。



下層ページコンテンツ

お知らせ、サービス紹介などの内容（テキスト・画像・リンク情報）が該当します。長い年月情報を更新してきたこともあり、ページごとに体裁や構成に多少のバラツキが見られます。これらの中身は変更せず、印象を整え、全体の統一感を保つための簡単な調整を行います。



ニュースなどの既存詳細ページについては、大幅な構成変更は行わず、必要に応じて表現面の改善を行います。



HTML

既存下層ページ

既存のテキスト・画像・リンク情報は原則変更しません。文言や掲載内容の修正は、必要に応じて別途対応します。



HTML

構成見直しの対象ページ（IR・サービス）

IRおよびサービス領域については例外とし、必要な情報構成の見直しを行います。複数のレイアウトパターンを用意し、それらを組み合わせてページを再構成します。



CSS

見た目・操作性

ヘッダー、ナビ、見出し、ボタン、余白、フォントなどの共通表現を見直し、全体の印象と操作性を高めます。

機能要件

テンプレート・CMS設計



Webサイトの基盤を形成する「機能要件（UI・データ構造）」として定義しました。

共通テンプレートの再設計、デザインルール統一、情報の構造化、CMS仕様定義、データ連携最適化、画面設計書作成までを体系化し、全体工程における設計基準を明確に示しました。

項目	機能設計	内容
UI刷新	テンプレートと操作性	ヘッダー／フッター／ナビゲーション／CTAなど共通テンプレートを再設計し、視認性・操作性を改善します。
デザイン統一	トーン・余白・配色	全体トーン・配色・余白・フォントの共通ルールをCSSで再定義。
IR情報構造設計	情報体系化・ページ階層設計	IRニュース・決算・ガバナンス・サステナビリティ等を体系化。
CMS仕様定義	投稿タイプ／カテゴリ再設計	既存CMS構造を踏襲しつつ、投稿タイプ・カテゴリ・入力項目を再設計。更新効率・整合性を重視。
データ連携・拡張	ダウンロード資料	財務情報・PDF公開・ニュース更新など、手動管理領域の整理と自動化余地の確認（現CMS範囲内で最適化）。
レスポンス対応	画面幅に応じた表示最適化	共通テンプレートおよび主要ページについて、画面幅に応じてレイアウト・導線・文字サイズを調整し、パソコン・スマートフォン双方で閲覧しやすい構成とします。
画面設計書	ワイヤーフレーム	主要テンプレート（IR情報／サービス／採用情報の各トップ）を中心に画面設計書を作成し、要素間のルール化を実施。

この設計により、IRコンテンツ及びサイト全体の構造が整理され、運用・更新・拡張すべての基盤が安定します。

テンプレートやCMS構造を統一することで、情報の整合性と視認性が向上し、更新コストも低減。さらにIR情報が体系化されるため、投資家やステークホルダーに正確で信頼性のある情報が迅速に届く仕組みが実現します。

3パターンのグラフを比較しました。

運用性を重視する場合はエクセルでの作成、見え方や印象を重視する場合はデザインでの作成、継続的な更新やデータ連携・拡張性を重視する場合はシステムでの描画が適しています。

エクセル作成例（基本の提案）

参考サイト

- [オムロン](#)
- [キーコーヒー](#)

特徴

- コスト低い
- 更新が簡単
- すぐ運用できる

弱み

- 見た目はやや弱い
- ブランド表現は限定的

デザイン作成例

参考サイト

- [双日](#)
- [住友商事](#)

特徴

- 見た目が整う
- ブランド表現できる
- IRとしての印象が上がる

弱み

- 更新コストが高い
- 都度作成が必要

システム描画例（システム：オプション）

参考サイト

- [キューピー](#)
- [東映アニメーション](#)
- [東急不動産ホールディング](#)
- [任天堂](#)

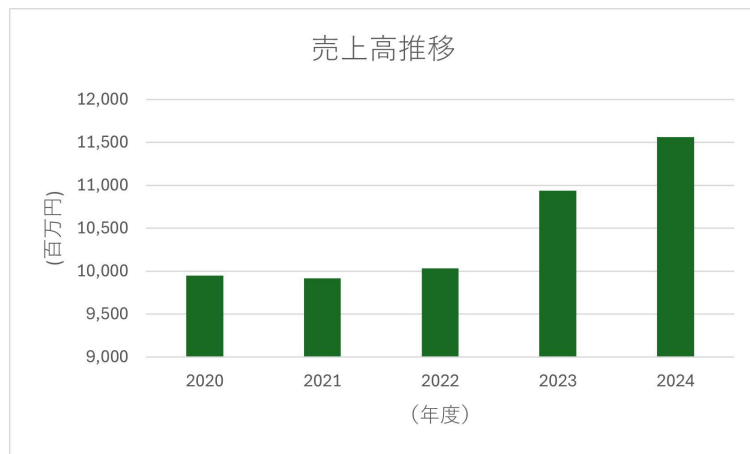
特徴

- データ連動
- 更新が楽
- 拡張性あり

弱み

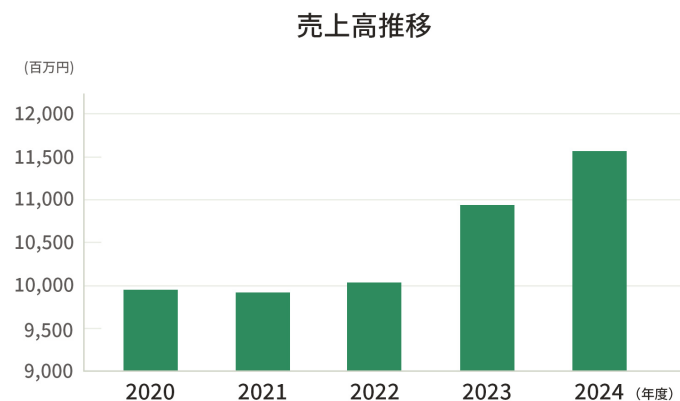
- 初期コストが高い
- 実装が必要

エクセルグラフ



エクセルで作成したグラフは、一般的な操作で短時間に作成できるため、更新や運用のしやすさに優れています。誰が扱っても同じ形式で再現できる点も特徴で、数値情報を正確に伝える用途に適しています。一方で、目盛りや補助線、ラベルなどの情報量が多くなる傾向があり、複数のグラフを並べた際には、やや圧迫感が出やすくなります。

デザイングラフ



グラフィックソフトで作成したグラフは、表示する情報を調整しながら構成できるため、全体の見え方や印象をコントロールしやすい点が特徴です。コーポレートカラーに合わせた配色や、不要な要素を抑えた設計が可能で、複数のグラフを並べた際にも統一感のある見え方をつくることができます。その分、作成には一定の工数がかかり、運用面では都度対応が必要になります。

※複数のグラフを一覧で見せる構成を前提とする場合は、見え方の整理がしやすいデザインでの作成が適しています。

機能要件

グラフ描画システム1/2

オプション



おすすめのグラフライブラリ

実装経験を踏まえ、ApexChartsはIRで求められる信頼性・可読性・アクセシビリティ・更新性を安定して実現しやすいため、第一候補として想定しています。

可読性 > 派手さ

IRは「信頼」が最優先です。

- ・グラデーション・3D・動く円グラフ → ×（読みにくく、信頼性を損なう）
- ・線グラフ／棒グラフ／積み上げ棒グラフ → ○（推移が明快）

アクセシビリティ対応

最低限のアクセシビリティ対応は実装します。

- ・Canvas描画でも <title> や aria-label を追加できるライブラリを選ぶ
- ・ApexCharts や Highcharts はこの点に優れています

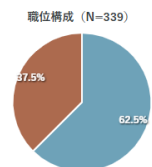
運用・更新コスト

IR担当者が每期手動更新するケースが多いです。

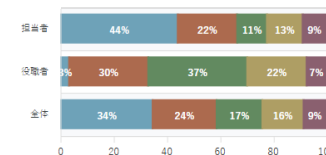
- ・ApexChartsはJSONからのデータ取得で管理側の開発が不要（JSONを利用しFTP対応）
- ※ExcelやCSVをCMSで直接読み込める構成の場合、要システム開発となります。

ApexCharts の導入事例（弊社サンプル）

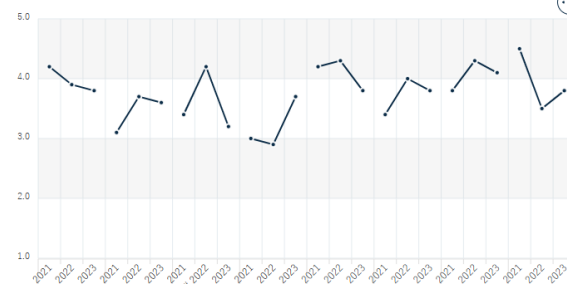
回答者の構成



世代構成 (N=339)



評価変化



機能要件

グラフ描画システム 2/2

オプション



グラフ表示方式の比較

Webサイトにグラフ描画で利用されるJavaScriptライブラリを紹介します。

用途	ライブラリ	無料/商用	特徴
決算・業績推移 (売上・利益・経常・セグメント別など)	ApexCharts	完全無料 (MIT)	軽量・スマホ対応◎。デザインがきれい日本語フォントにも強い。IRページとの親和性が高い。
長期トレンド・株価・時系列分析	Highcharts	有料 (商用) / 非商用無料	金融系に強く、アニメーションや注釈などが豊富。上場企業での採用率No.1。
シンプルな棒・円グラフだけで十分	Chart.js	完全無料 (MIT)	軽い・管理が簡単。 公式IRでも補助図用に使われることあり。
大量データの可視化 (Excel代替)	AG Grid + Chart.js	無料 (Community)	Handsontableの代替。表とグラフの連携が柔軟。
高級感・ブランド訴求を意識	amCharts 5	有料 (約180USD～)	見た目が美しく、演出を付けても重くならない。グローバル企業に多い。
高機能	Handsontable	商用 (有料 年間約 US\$ 899)	Excelのように編集・並替可能な高機能表。大量データも軽快。

評価軸	ApexCharts	Chart.js	Highcharts
操作の軽快	◎	◎	○
デザインの整合性	◎	○	◎
商用ライセンス負担	◎	◎	× (高い)
国内IR実績	○ (増加中)	○	◎ (大手中心)
CMS更新容易性	◎	◎	△

非機能要件

アクセシビリティ対応の方針

今回の改修範囲において、閲覧者が必要な情報に支障なくアクセスできるよう、文字サイズ、コントラスト、見出し構造、代替テキスト、キーボード操作等に配慮して改修を行います。

対象はトップページおよびIR情報以下のコンテンツとし、WCAG 2.0 AAを基準として対応方針を定めます。

なお、本対応はサイト全体のAA準拠を保証するものではなく、今回の改修範囲において適用可能な内容を反映するものです。

アクセシビリティ指針ページの記載内容については、この対応方針に沿って整理します。

今後、今回の改修範囲での対応状況を踏まえ、必要に応じて次フェイズ以降で対象範囲の拡張や追加改修を検討していきます。

クッキー利用に関する方針

アクセス解析等でクッキーを利用する場合は、その利用目的や取得情報が分かるように整理し、必要に応じてポリシーページ等で明示します。表示方法や案内内容については、現行運用および導入ツールを踏まえて検討します。

対応デバイス・閲覧環境

パソコン

Windows 11以上

- ・Chrome / Firefox リリース時最新版
- ・Microsoft Edge リリース時最新版

macOS Sonoma 14 以上 / Sequoia 15 以上

- ・Chrome / Safari リリース時最新版

スマートフォン

- ・Android 10以上
- ・Chrome ブラウザ リリース時最新版
- ・iOS 15以上
- ・Chrome / Safari リリース時最新版

※検証は基本的にブラウザエミュレーターでの検証となります。

納品データ

Webデータ

- ・ファイル：HTML/CSS/JavaScript
- ・画像：PNG/GIF/JPG/WebP

※イラスト・グラフィックなどの元データにつきましては、別途ご相談となります。

その他データ

- ・要件定義書

※本ドキュメントをアップデートしたものを、要件定義書とします。

制作条件要件

制作条件要件

範囲について



トップページとIRを中心に、文字の読みやすさや情報の届きやすさを改善しサイト全体の印象向上を図ります。

共通テンプレートの刷新と情報導線の見直しを通じて、見やすく使いやすいサイトへの改善を進めます。

	範囲	今後の拡張候補
改修全体方針	トップ、IR情報、共通テンプレート刷新、採用トップとサービストップの導線改善を中心に、必要な情報にアクセスしやすく読みやすいWebサイトへ改修します。	下層ページ全面再設計、文言全面改稿、採用全体ブランディング強化、商材PRや販売強化などは次フェイズ以降の検討対象です。
採用領域	採用情報トップを改修します。 選考の流れ・キャリアプランは、新卒／中途それぞれの導線に統合します。	採用サイト全体の再構成や訴求強化は、必要に応じて今後検討します。
既存詳細ページ	最新の共通フォーマットを適用し、フォントや行間を見直して見やすさ・使いやすさを高めます。	コンテンツ内部の導線再設計や細かなHTML構造の変更は、必要に応じて今後検討します。
コンテンツ改修範囲	トップページ、IR情報内コンテンツ、採用情報トップ、サービストップの掲載内容を見直します。	IR以外の下層コンテンツのテキスト・画像・リンク情報の全面改稿は含まず、必要に応じて別途対応します。
CMS・更新機能	既存CMSをベースに改修します。	新たなCMS導入やグラフ管理システムの追加は、必要に応じて次フェイズ以降で検討します。
原稿・画像・素材	原則、原稿・画像をもとに掲載調整を行います。	取材、コピーライティング、撮影など必要があれば別途お見積りにて承ります。
フォーム・外部連携	既存応募／問い合わせ導線の範囲でリニューアルに合わせ必要最小限の改修を行います。	フォーム新設、ATS/CRM連携、自動返信改修、外部SaaS接続など必要があれば次フェイズ以降ご案内いたします。
SEO・計測設定	既存の基本設定を維持し、見出しなど必要箇所のみ調整いたします。	SEO設計、キーワード戦略、GA/GTM詳細設計、CV計測見直しなど必要があれば次フェイズ以降ご案内いたします。
動作確認・対応環境	主要ブラウザ・主要端末での表示確認を実施します。	旧環境個別対応、全端末保証、大規模回帰テストなど必要があれば別途お見積りにて承ります。
アクセシビリティ対応	WCAG 2.0 AAを参考に、今回の改修範囲でアクセシビリティに配慮して対応します。	検査実施及び対応範囲の拡張など必要があれば次フェイズ以降ご案内いたします。
IR資料・PDF運用	既存掲載方式に沿って更新可能な形に設計します。	PDF再制作、IR資料の新規構成設計、開示運用フロー再構築など必要があれば次フェイズ以降ご案内いたします。
公開・移行対応	本番反映に必要な公開作業を実施します。	サーバー移管、CMS移行、DNS切替、URL設計変更、リダイレクト対応など必要があれば次フェイズ以降ご案内いたします。

運用／保守要件

運用／保守要件

運用・権限・拡張性



制作後の持続運用・品質保証・拡張対応性を確保するため定義しました。

更新体制や権限設計、デザインシステムによる品質維持、改修拡張性、リニューアル周期管理、外部連携体制などを体系化。これにより、Webサイトを長年にわたり安定的かつ効率的に運用できる基盤を構築します。

項目	機能設計	内容
運用設計	承認・更新フロー整備	更新体制（IR担当・広報・外部管理者）を想定し、承認・更新・公開までのフローを整理。
権限設定	CMS権限の明確化	CMS上での更新・承認・公開権限を明確化。部署別の操作範囲を定義し、運用の属人化を防止。
品質維持ルール	デザインシステム化	デザインシステム化による表現統一（CSS・テンプレート改修・運用ガイドライン）。 オプション
改修拡張性	コンポーネント化	IR以外（採用・サービス）への波及を想定した設計。
リニューアルサイクル管理	長期運用設計	リニューアル周期5年を基準とし、長期運用できる構造的設計を採用。
運用支援契約 (外部制作連携)	外注連携の共通言語化	他社制作・開発チームとも連携可能なドキュメント形式（要件定義書）で納品。外注との共通言語化を担保。



本設計により、運用担当や外部制作会社が同一基準で管理でき、属人化のない安定運用が実現します。

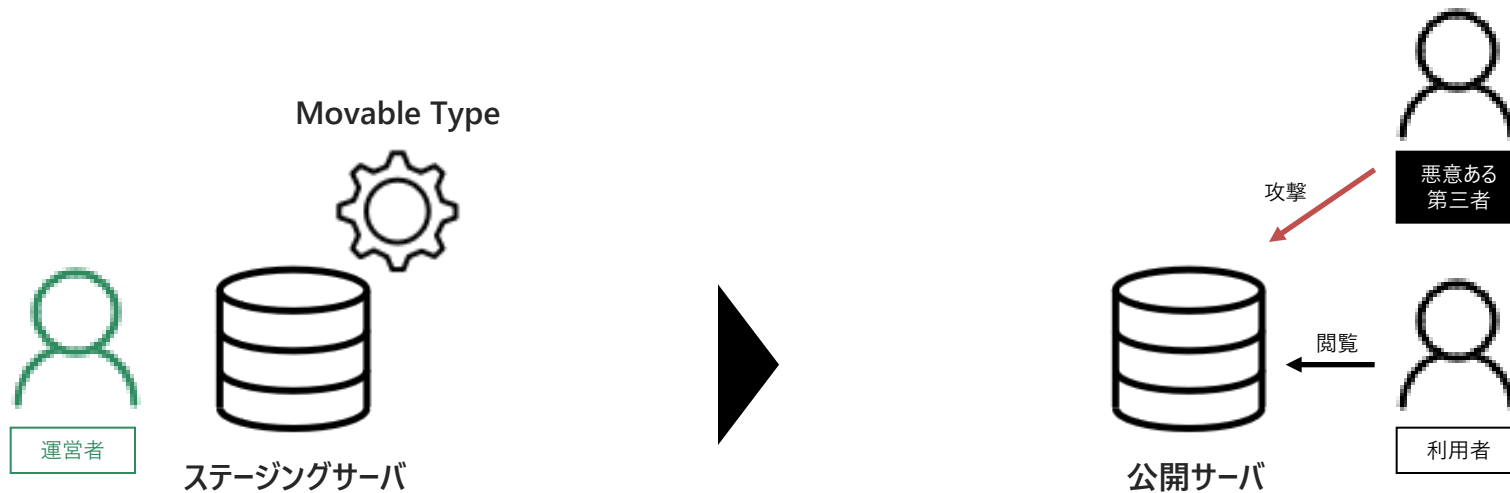
更新・承認・公開までの流れが整理され、トラブルや情報遅延を防止。また、共通ルール化と拡張性設計により、将来的な機能追加やリニューアルも効率的に行える体制が整います。

運用／保守要件

更新・公開フロー

事業を担う企業のWeb基盤には、更新性だけでなく公開環境の安全性と安定性が求められます。

本構成では、Movable Typeをステージング環境で運用し、公開サーバーには生成済みの静的ファイルのみを配置する構成を採用します。



ステージングサーバーにてCMSを更新します。
Movable Typeは更新時にページファイルを生成する仕組みです。
公開時は更新対象のファイルを公開サーバーへ反映します。

公開サーバーには、生成済みのHTML・CSS・画像などの静的ファイルのみを配置します。
そのため、公開サーバー上でCMSやサーバー側プログラムが動作せず、**攻撃対象となる機能を抑える構成**です。

運用／保守要件

運用方針



更新はステージング環境で行い、確認後に本番環境へ反映する運用を想定します。公開サーバーには静的ファイルのみを配置し、安全性と安定性に配慮した構成で運用します。

項目	内容
更新環境	Movable Typeをステージング環境で運用し、更新・確認を行います。
公開方法	確認完了後、更新対象のファイルの本番環境へ反映します。 公開サーバーには生成済みの静的ファイルを配置する構成とします。
確認フロー	お客様にて内容確認後、承認をいただいたうえで公開します。
更新対象	IR情報、ニュース、CSRなどの最新情報やPDF資料等の更新を想定します。 提案書でも既存掲載方式に沿って更新可能な形に設計するとしています。
セキュリティ配慮	公開サーバー上でCMSやDBを稼働させないため、攻撃対象となる機能を抑える運用構成とします。
管理権限	詳細な承認フローや権限設計は、基本的に現在の内容のものとなります。
今後の拡張	進行していく中で新たなご要望につきましては、次フェイズ以降の対応として改めて設計いたします。

進行計画と費用

進行計画と費用

対応内容：要件定義・基本設計



ID	項目	対応内容
01-01	指針定義	改修の目的、対象範囲、優先順位、情報設計・導線設計の基本方針、更新方法や実装条件、成果物の定義を定め、以後の設計・制作判断の基準を明確にします。
01-02	情報設計	サイト全体の構造と情報の配置を定義し、カテゴリ構成、ページ階層、導線設計を行い、利用者が目的の情報に迷わず到達できる構成を明確にします。
01-03	画面設計	主要ページのレイアウトと要素配置を設計し、情報の優先順位、視線誘導、操作性を踏まえたワイヤーフレームを作成し、画面単位の構成を明確にします。対象は総合トップ、サービストップ、採用トップ、IR情報トップおよび下層テンプレートとします。
01-04	システム設計	更新方法やデータ管理、検索機能などの仕様を整理し、CMS構成や実装方式、外部連携の有無を含めたシステム全体の構成と実装条件を定義します。
01-05	IR情報設計	IR情報の区分と構成を定義し、開示情報の整理、一覧性と検索性を考慮したカテゴリ設計とページ構成を行い、投資家が必要な情報に到達しやすい構成を明確にします。

※要件定義書および設計・制作に必要なドキュメント一式

進行計画と費用

対応内容：デザイン



ID	項目	対応内容
02-01	トップページデザイン	ワイヤーフレームを基にトップページのデザインを2案作成し、企業全体の価値が伝わるトップページを設計します。デザイン確認に伴う修正は2回まで承ります。トップページのPCデザイン確定後、スマートフォンおよび下層コンテンツのデザイン制作を進行します。
02-02	IRトップデザイン	IR情報の一覧性と視認性を重視し、投資家が必要な情報に迅速にアクセスできるよう、構造と可読性を踏まえたデザインを作成します。
02-03	採用トップデザイン	新卒者と中途採用の入り口を明確にし、企業理解と応募行動につながる構成と印象設計を踏まえた採用トップページのデザインを作成します。
02-04	サービストップデザイン	各サービスの内容と関係性が把握しやすい構成とし、総合力と個別サービスへの導線を両立したサービストップページのデザインを作成します。
02-05	IR下層ページ用レイアウトデザイン	IR資料や開示情報の閲覧性を重視し、情報の比較や把握がしやすいレイアウトテンプレートを設計し、各下層ページに適用します。
02-06	共通パーツデザイン	ヘッダー、フッター、ナビゲーション、ボタンなど全ページ共通で使用するUI要素を設計し、統一された操作性と視認性を担保します。
02-07	総合力ビジュアル作成	拠点、人材、事業の連携による総合力を表現するビジュアルを作成し、サービス領域における訴求力を高めます。
02-08	図版作成	サービス説明や構造理解を補助する図版を作成し、複雑な情報を視覚的に整理して伝達できるコンテンツを作成します。概念図版など3～5点程度を想定し、5点を超える作成はオプションとします。

※修正対応について

デザイン確認時の修正は各対象項目に記載の回数内で対応します。実装後の軽微な調整は本項の修正対応範囲内で対応します。

進行計画と費用

対応内容：実装



ID	項目	対応内容
03-01	トップページ実装	デザイン確定案を基に、トップページのHTML、CSS、必要なスクリプトを実装し、各導線や表示要素が適切に機能するページを構築します。
03-02	IRトップ実装	IRトップページのデザインを基に、一覧性と可読性を担保したHTML、CSSを実装し、必要な導線や表示要素をページに反映します。
03-03	採用トップ実装	採用トップページのデザインを基に、新卒・中途それぞれの導線が分かりやすく機能するよう、HTML、CSS、必要な要素を実装します。
03-04	サービストップ実装	サービストップページのデザインを基に、各サービスの関係性と導線が伝わるよう、HTML、CSS、必要な表示要素を実装します。
03-05	IR下層ページ用レイアウト実装	IR下層ページ用に設計したレイアウトテンプレートを実装し、各種開示情報や資料ページに展開できる表示形式を構築します。
03-06	共通パーツ実装	ヘッダー、フッター、ナビゲーションなど全ページ共通で使用するパーツを実装し、統一された表示と操作性をサイト全体に反映します。
03-07	UIパーツ実装	ボタン、見出し、カード、一覧、タブ等のUIパーツを実装し、各ページで共通利用できる表示部品として整備します。
03-08	JavaScript実装	メニュー表示、タブ切替、アコーディオン等、画面上の動きや操作に必要なJavaScriptを実装し、利用性を向上させます。
03-09	既存詳細ページテンプレート反映調整	既存ページへのテンプレート適用・調整

進行計画と費用

対応内容：システム開発



ID	項目	対応内容
04-01	基本設定環境構築	本案件に必要な基本設定を行い、MTのインストール、テスト環境の構築、テンプレート反映やページ出力を行うための制作・検証・公開環境を整備します。 ※テスト環境は公開後6か月間保持します。保持期間終了後の継続利用が必要な場合は、別途ご相談とします。
04-02	既存MT構造確認	既存MTのテンプレート構成、出力形式、カテゴリ設計、運用状況を確認し、改修に必要な前提条件と影響範囲を把握します。
04-03	MTテンプレート組み込み	作成したデザインおよび実装データをMTへ組み込み、各ページに反映できるテンプレートとして整備します。
04-04	カテゴリ・出力設定整備	カテゴリ構成とアーカイブ出力設定を見直し、必要なページが適切なURLと構成で出力されるよう設定を整備します。
04-05	IR一覧／ライブラリ出力調整	IR一覧およびライブラリページの出力内容を調整し、情報が適切な順序と形式で表示されるよう整備します。
04-06	ハイライトグラフ掲載 (JPG)	グラフ画像を所定箇所へ掲載し、ページ内で適切に表示されるようサイズや配置を調整します。
04-07	PDF導線整備	PDF資料へのリンク導線を整備し、対象ページから必要な資料へアクセスしやすい表示と配置を設定します。
04-08	本番反映・公開作業	検証完了後のデータを本番環境へ反映し、表示確認と最終調整を行ったうえで公開作業を実施します。

進行計画と費用

対応内容：管理



ID	項目	対応内容
05-01	表示検証	各ページの表示内容を確認し、レイアウト崩れや文字組み、画像表示などがデザイン通りに再現されているかを検証します。
05-02	リンク検証	サイト内外のリンクを確認し、リンク切れや誤リンクがないか、想定通りの遷移先へ接続されているかを検証します。
05-03	動作確認	ナビゲーション、ボタン、フォーム、スクリプト動作など各機能の挙動を確認し、操作上の不具合がないかを検証します。
05-04	修正対応	検証工程で発見された不具合や表示調整に対応し、修正範囲内での調整作業を行い、全体の品質を担保します。
05-05	進行管理	全体スケジュールに基づき各工程の進行を管理し、関係者との調整、確認、共有を行いながらプロジェクトを推進します。

進行計画と費用

スケジュール



工程	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要件定義・基本設計	●	●				
デザイン		●	●	▲		
実装			●	●	▲	
システム開発・MT組み込み		●	●	●	●	●
検証・修正対応				●	●	●
公開準備・本番反映						●

※各工程は並行して進行します。詳細スケジュールは要件定義後に確定します。

※▲ = 月途中まで、または中旬程度で区切るバッファ

区分	主な役割
お客様	ご要望の確認、掲載内容の確認、原稿・資料・素材のご支給、公開前確認
ケイター・インタラクティブ	要件定義、情報設計、画面設計、デザイン、実装、進行管理、公開対応
外部協力会社等	必要に応じて、デザイン制作・実装補助等を担当します。体制の詳細は受注後に確定します。

本資料の内容について、ご不明な点などありましたら
下記までご連絡ください。

MAIL: k2.nagata@k2-interactive.co.jp

TEL: 03-4405-2569

担当：永田 勝也

 borderless communication
ケイツー・インタラクティブ